

## 決議

困窮の生活より免れず、少子化もよりの生活樂を生産するに何を重視するか、望むが如く、大だらけで、顧みづ下がり、一鶴居の狹苦な小屋の中、広々とした野原は自由と謂ひ探す。欲するが如く、狭きが人間に比較して、欲望ニドリ、満喫す。然るに吾々は生物的要素をも持つれば、居ても、香る、空虚口氣食絲迄グンと座下す。庶、強制賣庄稼張り、赤價制度、中商程取引、而目喝の不醉度、依然花園町、通達販諸業の生活改善、販小度度、漸進改善要求主導に對し、夕ノ河口火薺吉切天、昔々花園町、同處諸君、要求が当然である程當然なる事と認む。——、並承認する。當然而不思議、吾日本社が某々花園山張、要求に対する意不、解除了示さぬ。吾々、最後、つへて團結、張り、願う事、起立、手水、口火、不思議、——、宣言す。

吾々死へ、自由の本十生へ、自由口火、吾々に生へ、自由王興へ、吾々に要取す。

右決議！

## 東京日々新聞配達員大會

4 12.5  
九二九

第二十九號

昭和四年十二月四日

警視總監

丸 山 鶴 吉

内務大臣安達謙藏殿  
社会局長官吉田茂殿  
京都大阪神奈川兵庫名府縣知事殿

## 東京日々新聞社出張所爭議三闇スル件（第三報）

記載=全國新聞勞働組合ニ於ク管下東京日々新聞社各出張所配達員、一セ  
木久ト決行ヲ計画セルハ既報、處比丘禱及花園出張所ハ既ニ爭議ヲ起シ本  
日一日午後神樂財神樂坂傳樂、——於ク東京日々新聞配達員大會  
開催シ或ハ別記各種、ヒラク、——ハ等專ヲ煽動ニ努メ居レルか本日  
追ニ罷業ニ参加セルモノ花ノ如シ